

梅之木通信

【週末縄文人の会】

第44号 2024.3.16 発行

そろそろ、週末縄文人もお目覚めです

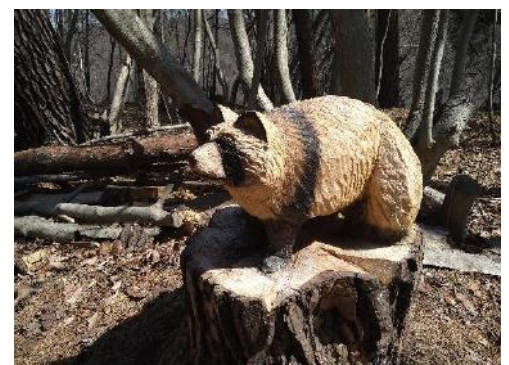
今年の冬は例年になく雪が多く、積雪の多かった地域では雪かきで忙しかったことと思いますが、そろそろ八ヶ岳の冬の生活にも飽きてきたようで、3月9日の作業開始には多くの人が集まりました。とは言え、まだまだ梅之木には冷たい風が吹き抜け、早々に4号棟に避難して元気な顔を確認しながらコーヒーをご馳走になって解散・・・ といった我々らしい一年が始まりました。私たち日本人よりも日本中を旅しているアメリカ人のアダム君や、明野町小笠原にあるビヨンド自然塾の河村さんにも参加いただいたりと、また今年も新たな顔ぶれが増えそうで楽しみです。

☆ 『森のあそびば』に動物たちが増えました

みなさんはオオムラサキセンターと北杜高校の馬術練習場の間の森の中に『森のあそびば』が建設されていることをご存じですか。『NPO 法人 自然とオオムラサキに親しむ会』のみなさんが、ひのきの間伐材を使っていろいろな遊び道具や小屋を作っていますが、森の中には多くの動物たちが潜んでいます。週末縄文人の会で建設中の縄文式ジャングルジムは森のあそびばを抜けた先にありますので、森の動物たちを探しながらジャングルジム建設現場まで足を運んでみてください。



まるで本物のような動物がいろいろなところに隠されていますので、いくつ見つけられるか・・・ 春休みのひと時、お子さんやお孫さんと一緒に探訪してみてもいかがでしょう。

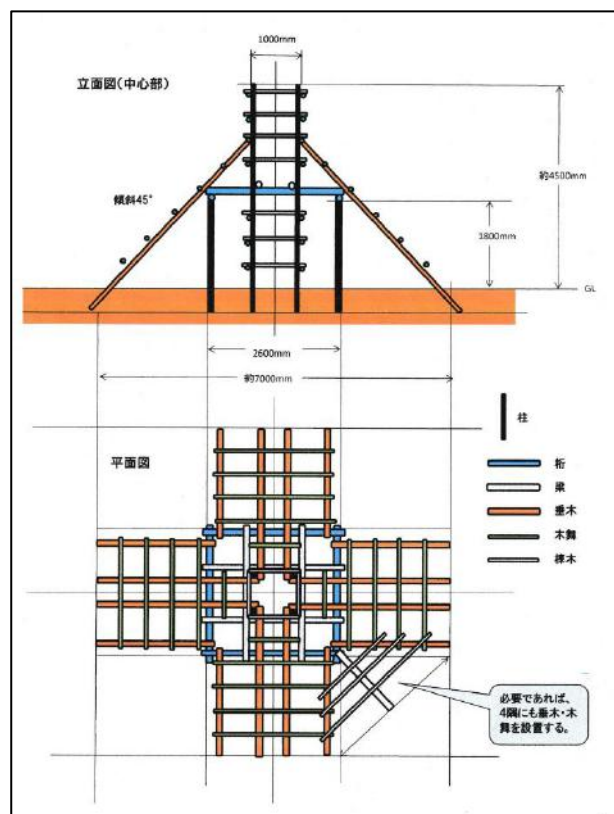


❖ 縄文式ジャングルジム

梅之木と違って史跡の制約が無いのもっと楽勝かと思っていましたが、

- * 子供が昇ったりして遊ぶから・・
- * 杉皮や土で覆いかぶせず屋根がないので・・
- * 周りの樹木でスペースが制限されるから・・

と今までとは違った心配事や苦勞が出てきます。柱と梁はコナラを使いますが、垂木や横木はヒノキの間伐材を使うのであまり曲がりがなく直線的な樹木なのでその点は簡単そうです。



❖いつものように船頭が多いので真ん中の4本柱の位置を決めるのが一苦勞。



❖最後はみんなで力を合わせて4本の柱が立ちあがりました。



❖中心の4本柱を押さえる内梁の位置を決め、仮締めまで終了。なんとか骨格が見え始めてきました。

❖梅之木遺跡の補修作業もありますが、週一回づつの作業では『森のあそびば』も中途半端になってしまいかねないので、しばらくの間は『森のあそびば』での作業に注力することとしました。3月・4月での作業を予定していますが、そこはお天気次第、喧々譁々みなさんの意見次第のところもあるので確定ではありませんが、当面は『森のあそびば』の方にお集まりください。